

ようこそ『スポーツウエルネス学学位プログラム』へ

本学位プログラムは、変化が激しい社会のさまざまな課題に対応できるスポーツとウエルネス領域の高度人材育成を目指しています。

2019年に中国武漢市で感染が報告され、パンデミックとなった新型コロナウイルス感染症は私たちの意識や生活に大きな影響を及ぼしました。昨年5月に「5類感染症」となり、以前の日常が戻ってきましたが、3年以上に渡って制限下での活動を余儀なくされました。このことは負の側面が多かった一方で、DXの推進やテレワークを含む働き方の見直しなどが一気に促進される原動力にもなりました。ある調査では、10～20年後にはITの進化によって50%近い職業がなくなると言われています。また、人生100年時代、超高齢化社会、少子化、環境問題などもあります。

このような現代を生きる私たちに求められるものは何でしょうか。国は、社会の諸課題への的確な対応のために「総合知」を推進しています。「総合知」とは多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むことです。多様な「知」とは、属する組織や専門領域に捉われずに集うこと。まさに本学位プログラムが目指す姿です。入学された皆さんは、年齢、キャリア、バックグラウンド、課題意識など多くの違いがあります。そして、それぞれが社会人としての経験から「何が問題なのか」という課題を持ち、「何かを変えたい」という意識と意欲があるはずです。このような多様な学生が互いに学び、研究することで社会を変えるイノベーションの芽が生まれることが期待されます。

スポーツとウエルネスは、時代が変わっても人間に依拠するものであるが故になくならない領域です。一方で解釈や活用については多様化し、変化し続けているといっても過言ではありません。IT等の進化によって人間の役割は変わっていきます。そんな現代、未来であるからこそスポーツ、ウエルネスの重要性は増していきはざす。皆さんが感じている課題を解決するために、社会人の特徴でもある強い先入観を一旦はおいて、科学的な手法を学び、多様な教員や仲間と議論を重ねてください。その先には、きっとこれまでとは違った何かが見えてくるはずです。

本学位プログラムは来年度から、スポーツヘルスプロモーション分野とスポーツウエルネスマネジメント分野（協働大学院方式）という新しい形になります。それぞれの分野に特徴がありますので、資料や説明等を参考にして、自分にあった分野を選択するようにしてください。

仕事との両立は簡単ではないはずです。しかし、ここで学び研究する日々は、これまで見たことのない景色を見せてくれるはずです。教員は、教育、研究へのサポートはもちろんですが、皆さんがぶつかる問題や困難にも寄り添っていく経験と覚悟を持っています。皆さんと共に学ぶ日を楽しみにしています。

学位プログラムの目指すところ

学位プログラムリーダー 山口 香

本学位プログラムは、スポーツおよび健康に関連する幅広い職種（アスリート、コーチ、競技審判、ジャーナリスト、保健体育教諭、競技団体職員、看護師、保健師、助産師、鍼灸師、理学療法士、管理栄養士、養護教諭、カウンセラーなど）および職域（教育組織、一般企業、自治体、フリーランス）を背景に持つ社会人のみならず、新たにスポーツや健康分野の専門性の獲得を求める他専門分野の社会人のリカレント教育の場です。それぞれが実社会で実感・直面している「社会課題」に対して、様々な研究的手法、専門知識を獲得し、それらの「知」を活用することによって、科学的、客観的かつ俯瞰的な課題解決法の構築力や開発力の向上を目指す高度職業人の育成を目的としています。2003年に設立（スポーツ健康システム・マネジメント専攻）され、今年度は22期生をむかえ、修了生も450人を超えました。

新型コロナウイルス感染症は私たちの意識や生活に大きな影響を及ぼしました。負の側面が多かった一方で、DXの推進やテレワークを含む働き方の見直しなどが促進される原動力にもなりました。ある調査では、10～20年後にはITの進化によって50%近い職業がなくなると言われています。また、人生100年時代、超高齢社会、少子化、環境

資料 1-2

問題などもあります。このような現代を生きる私たちに求められるものは何でしょうか。

国は、社会の諸課題への的確な対応のために「総合知」を推進しています。「総合知」と

は多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むことです。多様な「知」

とは、属する組織や専門領域に捉われずに集うこと。まさに本学位プログラムが目指す

姿です。ここで学ぶ学生は、年齢、キャリア、バックグラウンド、課題意識など多くの

違いがあります。このような多様な学生が互いに学び、研究することで社会を変えるイ

ノベーションの芽が生まれることが期待されます。

2025 年度からは、スポーツヘルスプロモーション分野とスポーツウエルネスマネジメ

ント分野（協働大学院方式）の2分野に改変されます。それぞれの分野に特徴があり、

これまで以上に社会の変化・要請に応える人材育成を目指していきます。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)
スポーツヘルスプロモーション分野

大学院説明会資料

※変更になる場合があります

1. 課程修了について

標準修業年限(2年)以上在学し、所定の30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文審査及び最終試験に合格し、学位が授与されること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとなっている。

2. 研究指導について

- ・ 研究指導担当教員の演習 I・IIを中心に、ゼミ形式による学位論文作成準備のための国内外の文献検討や専門書の輪講などを行う。
- ・ スポーツウエルネス研究方法論 I・II、及びスポーツまたはヘルスプロモーション研究方法論IVの授業を基本とし、研究指導担当教員により、個別の研究計画に応じた指導がされる。
- ・ 研究指導および研究進捗評価の一環として、学位プログラム主催の中間発表会及び学位論文発表会が必須の内容として位置づけられており、全員の参加が義務付けられている。
- ・ 学位プログラム設置の主旨と理念に則した研究活動を推奨しており、スポーツとヘルスの融合を図る観点から、研究指導の面においても両領域の教員が相互に助言できる体制を取っている。

3. 学位論文について

- ・ 大学院は学術院という組織によって運営されている。文字通り研究を旨とする組織であり、教育を旨とする学部・学群とは性格・機能を異にしている。
- ・ 研究とは、論理的思考と科学的技法をもって課題を解決する営みである。そして、その成果を修士論文または特定課題研究報告書という形で発表する。課程修了の称号として修士(スポーツウエルネス学)を取得することが出来る。

<修士論文>

スポーツまたは健康に関するテーマに則した調査、実験結果の統計学的、科学的検討が行われていること、あるいは文献検討を通じた論理的妥当性と内容妥当性、ならびに理論的創造性があること。

<特定課題研究報告書>

スポーツまたは健康に関する特定の課題について、実践的技法を用いて課題解決や目標達成に取組み、その経緯と成果について妥当な考察がなされ、実証的創造性が認められること

4. 履修について

1) 開設科目について

特講: 講義中心で、その領域の専門知識を学ぶもの。本学位プログラムの設置の趣旨や特徴を最大限生かすには、自分の分野も他分野の特講もできる限り履修することを勧める。

演習: その教員の指導学生のための、論文作成準備のゼミ形式が多い。国内外の文献検討や専門書の輪講などを行う。

実習: その領域の専門性がかなり高いので(例えばフィールドでの調査を実際にするというような授業も展開されるため)、その領域の基礎知識が不可欠である。

専門科目(関連): 担当教員(筑波地区)により様々な授業が展開される。オリジナリティあふれる授業をお願いしているため、興味のある科目は是非履修を。

2) 履修要件について

①学位プログラム全体での専門科目(必須) **4単位**

- ・スポーツウエルネス論概論 **2単位**…標準1年次に履修
- ・スポーツウエルネス方法論 **1単位**…標準1年次に履修
- ・スポーツウエルネス研究方法論Ⅰ **1単位**…論文提出年度に履修

②スポーツヘルスプロモーション分野共通の専門科目(選択)から

- ・スポーツウエルネス研究方法論ⅡまたはⅢ **1単位**

スポーツヘルスプロモーション分野の専門科目(選択)から、

- ・所属領域開設科目 9単位
- ・隣接領域開設の講義科目 2単位

を中心に11単位以上

計12単位以上を履修する。

※スポーツヘルスプロモーション分野では、2領域(スポーツプロモーション領域・ヘルスプロモーション領域)を設定(希望領域を選択し、受験)。

*研究方法論について

研究方法論の単位の取得には、研究指導教員の指導のもとに、

スポーツウエルネス研究方法論Ⅰ：研究計画を立案し、研究テーマの設定、テーマ届けを提出する。

スポーツウエルネス研究方法論ⅡorⅢ：各自の設定した研究テーマに基づき、研究を実施し、学位論文中間発表会に終日参加し研究進捗状況などについて発表を行う。

○○研究方法論ⅣorⅤ(所属領域開設科目)：研究計画に基づいて修士論文・特定課題研究報告書の作成を行う。

基本の履修プランは

分野共通から

スポーツウエルネス研究方法論Ⅱ(1単位)*

スポーツヘルスプロモーション分野から

選択した自分の領域の

特講(2単位)×2=4単位…領域教員2名のそれぞれの科目

演習(2単位)×1=2単位…研究指導教員の科目

演習(1単位)×1=1単位…研究指導教員の科目

○○研究方法論Ⅳ(2単位)*…所属領域開設科目

計9単位

分野内の隣接領域の

特講(2単位)×1=2単位 計2単位

以上

合計12単位

*は修論や報告書作成年度に履修する

スポーツヘルスプロモーション分野用〔備考〕欄の抜粋

スポーツヘルスプロモーション分野選択者は、選択専門科目から下記の(a)(b)を選択必修とする。

(a) 分野内の下記の特講科目のうち3科目以上(所属領域内2科目、隣接領域内1科目)

スポーツマネジメント論特講(山口)

トップスポーツ競技論特講(安藤)

健康開発プログラム論特講(柴田)

コミュニティメンタルヘルス論特講(辻)

※科目名が変更になる場合があります

(b) 分野内の下記の研究方法論Ⅳまたは研究方法論Ⅴのうち1科目を選択必修とする。

スポーツプロモーション研究方法論Ⅳ

スポーツプロモーション研究方法論Ⅴ

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅳ

ヘルスプロモーション研究方法論Ⅴ

(所属領域開設の研究方法論Ⅳ又は、研究方法論Ⅴを必修とする。)

③研究主題に関連する他分野(スポーツウエルネスマネジメント分野)開設の講義科目から4単位以上を履修する。

※詳細は、スポーツウエルネスマネジメント分野の開設科目参照のこと

④スポーツヘルスプロモーション分野開設の関連専門科目から4単位以上を履修する。

開設予定科目：スポーツプロモーション法制論特講、スポーツの倫理と教育、スポーツプロモーションとビジネス、トップアスリートのトレーニング、トップコーチング、多様なスポーツとインクルージョン、コミュニティスポーツプロモーション論特講、生活機能増進法論特講、健康増進基礎論特講、健康社会論、健康支援の理論と実践、スポーツヘルスプロモーション統計学特講、質的研究基礎論、量的研究方法論ほか

※科目名が変更になる場合があります

基本の履修プランは

- (3) スポーツウエルネスマネジメント分野が開設する講義科目○科目の中から、
特講など(2単位)×2科目=4単位
- (4) スポーツヘルスプロモーション分野開設の専門科目(関連)(1単位の中から)
(1単位)×4科目=4単位

⑤大学院共通科目、他専攻及び他研究科の開設科目を専門科目として履修することができる。

⑥単位互換制度に基づく他大学大学院の授業科目を専門科目として履修することができる。

- ①4単位、②12単位、③4単位、④4単位で、合計が24単位です。
修了要件を満たすには、残り最低6単位を履修する必要があります。
修了に必要な最低条件である残りの6単位を⑤や⑥で履修してもよいし、
②・③・④を増やしても良い。

5. 入学試験について

- ・ 出願要項をよくお読みいただき、Web 上で出願ください。それと合わせて、必要書類を提出ください(締切当日消印有効)
- ・ 出願要項は、スポーツヘルスプロモーション分野のパンフレット裏の QRコードより簡単にアクセスできます。

【出願資格における注意点】※抜粋

- ・ 4年制大学を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者(海外:16年)
- ・ 入学までに有職経験が概ね1年以上あること
- ・ 外国人出願者は、日本語能力試験((財)日本国際教育支援協会)N1または、J.TEST 実用日本語検定(日本語検定協会)特A級・A級の証明が必要
- ・ 本学大学院において行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの又は2025年3月までに22歳に達するもの。
事前の資格審査が必要

資格審査書類提出期間：

推薦入試：2024年6月4日(火)～2024年6月8日(土)

一般入試：2024年6月25日(火)～2024年6月29日(土)

1) 推薦入試 (2024 年 7 月 13 日実施)

試験科目等(配点)	試験内容 (評価基準)
書類審査(50 点)	これまでの経歴及び実績を踏まえ、志望動機、目的、問題意識、研究計画等、その実現性と独創性を評価します。なお、スポーツ領域においては、主としてスポーツ関連の実技・実務実績、ヘルス領域においては、主として健康業務・教育関連等の実務実績について高く評価します。
口述試験(50 点)	個別面接で行い、これまでの活動、志望動機、及び研究計画と修了後の活動等について試問します。

2) 一般入試 (2024 年 9 月 7 日実施)

試験科目等(配点)	試験内容 (評価基準)
書類審査(30 点)	これまでの経歴及び実績を踏まえ、志望動機、目的、問題意識、研究計画等、その実現性と独創性を評価します。
専門科目試験 (30 点)	スポーツとヘルスに関する基礎的な知識、論述能力を評価します。志望した領域から1問を選択して設問に解答します。 スポーツヘルスプロモーション分野 スポーツプロモーション領域 ヘルスプロモーション領域
口述試験(40 点)	個別面接において、これまでの活動、志望動機、及び研究計画と修了後の活動等について試問します。

【よくある質問】

- ・ 推薦入試と一般入試の違いは？
- ・ 推薦入試と一般入試は、両方受験できる？
- ・ 推薦書はどんな方をお願いするもの？
- ・ 専門科目試験は、どの様に準備すればいい？
- ・ 研究計画は、どの様なものを参考にすればいい？

2023年度 学位論文 一覧

スポーツプロモーション分野

氏名	種別	指導教員	題目	領域
安藤 嘉浩	修論	高橋義雄	高校野球審判員の試合運営に関する研究	スポーツプロモーション
岡崎 紀創	修論	高橋義雄	オリンピック種目化による空手道競技者の価値意識の変容過程に関する研究－全日本強化選手に着目して－	スポーツプロモーション
奥井 眞生	修論	山口 香	オリンピック代表選考から漏れた体験がその後の競技人生に及ぼす影響－自衛隊体育学校の選手を事例として－	スポーツマネジメント
北田 利弘	修論	尾縣 貢	重度なスポーツ傷害の経験が外傷後成長へと変容させる要因－女子サッカー選手を対象として－	スポーツマネジメント
小林 裕子	修論	高橋義雄	壮年・中年期女性の軟式野球を継続する要因	スポーツプロモーション
清水 美咲	修論	尾縣 貢	アンチ・ドーピングに関するクリーンスポーツビヘイビアの在り方－我が国のオリンピックメダリストを事例として－	スポーツマネジメント
立松 佳通	特定	尾縣 貢	先天性上肢形成不全児における逆上がり運動プログラムの作成	スポーツマネジメント
出川 尚	修論	高橋義雄	商業型スポーツ施設におけるスポーツトレーナーの専門性をめぐるマネジメント	スポーツプロモーション
藤井 瑞希	修論	山口 香	オリンピックのメダル獲得に与える影響についての－考察－バドミントンメダリストを事例として－	スポーツマネジメント
棟朝 銀河	修論	山口 香	オリンピックにおけるパフォーマンスに影響を与えた要因－トランポリン競技を事例として－	スポーツマネジメント

ヘルスプロモーション分野

氏名	種別	指導教員	題目	領域
石山 恭子	修論	久野 譜也	妊産婦への伴走型相談支援実現に向けた官民連携プロセスの研究	ヘルスプロモーション
伊藤 大輔	修論	辻 大士	高齢者の痛みと健康関連QoLおよび要支援・要介護リスクの関連と、その緩衝要因の検証	ストレスマネジメント
今井 愛	修論	柴田 愛	高齢者における「朝食を含めた主食・主菜・副菜・果物・牛乳及び乳製品」のバランスの取れた食事とフレイルとの関連	ヘルスプロモーション
遠藤 啓子	修論	柴田 愛	退職移行期の就業者における社外コミュニティ参加および参加への関心に関連する要因	ヘルスプロモーション
大井 沙耶	修論	辻 大士	COVID-19流行前後の就労者の心理的安全性とその関連要因の検証	ストレスマネジメント
小倉 由香里	修論	辻 大士	産業看護職のメンタルヘルス支援上の困難－レジリエンスと支援者支援の観点から－	ストレスマネジメント
川畑 美恵子	修論	水上勝義	高校教員のラインケアとメンタルヘルスに関する研究	ストレスマネジメント
木村 善	修論	辻 大士	健康サポート薬局の利用と服薬に関するヘルスリテラシー・服薬アドヒアランスとの関連	ストレスマネジメント
小西 弥生	修論	久野 譜也	女子大学生の痩せ願望の個人特性と背景要因に関する研究	ヘルスプロモーション
中嶋 圭一郎	修論	辻 大士	学校レベルのソーシャル・キャピタルと教員のメンタルヘルスの関係	ストレスマネジメント
福田 裕	修論	水上勝義	特定技能制度で就労するベトナム人の職業性ストレスについて	ストレスマネジメント

**スポーツウエルネス学学位プログラム（博士前期課程・博士後期課程）
2025（令和7）年度 入学試験関係日程概要（2024年実施）**

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士前期課程】

試験区分	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
推薦入試	2024/5/25（土）	2024/6/4（火）～2024/6/8（土）	2024/6/11（火）～2024/6/22（土）	/	2024/7/13（土）	2024/8/1（木）
一般入試		2024/6/25（火）～2024/6/29（土）	2024/7/2（火）～2024/7/13（土）		2024/9/7（土）	2024/10/1（火）

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 【博士後期課程】

課程	オープン キャンパス	資格審査受付期間	Web出願 及び 願書受付期間	筆記試験	口述試験	合格発表
【博士後期課程】	2024/5/25（土）	2024/9/3（火）～2024/9/7（土）	2024/9/17（火）～2024/9/28（土）	/	2024/11/9（土）	2024/12/6（金）

注1：出願には『Web入力システム』を導入しています。

注2：募集要項・出願書類・一般入試の過去問題・『Web入力システム』は、

東京キャンパスWebサイト<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>> の入試情報<<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/>> よりご確認ください。

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士前期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_master/

スポーツウエルネス学学位プログラム
（博士後期課程）：https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/examinee/sport-wellness_doctor/

注3：博士後期課程の外国語試験は、TOEIC® Listening & Reading Testの公式認定証の点数（第2段階選抜実施月の2年前以降に公開テストを受験し公式認定証が発行されたもの）を評価します。詳細は、募集要項を確認してください。

参考：スポーツウエルネス学学位プログラムWebサイト <<https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>>

社会人大学院等支援室 教務担当

お問い合わせ：businessentrance@un.tsukuba.ac.jp